

新・那覇市立病院 建設のお知らせ

令和4年6月1日発行 発行元:(地独)那覇市立病院
那覇市古島2丁目31番1



新・那覇市立病院の 建設に向けて

いまだ、コロナの収束の兆しは見えませんが、この2年間、コロナ禍の厳しい状況を、全職員が一丸となって乗り越えることができたのも、ひとえに地域医療にかかわる先生方、地域住民の皆様のおかげがあったおかげです。昨年は地域住民の皆様、企業の皆様から、応援の物資や労いの言葉、祈りを込めた絵画に折り鶴と、たくさんのお支えをいただきました。心より感謝申し上げます。

さて、昨年12月、新病院の建設に向けて、立体駐車場が完成しました。いよいよ本年より新病院棟の建設工事が始まります。新病院は現病院同様、地域医療支援病院、また、人材育成を目的とした臨床研修指定病院として、今後も地域の皆様の健康的な生活を支えるべく、安全安心な医療を持続的に提供していくことを目標としております。



外間 浩 理事長兼院長

那覇市立病院の これまでのあゆみ

那覇市立病院は、復帰8年後の昭和55年5月に、田端辰夫初代院長の下、開院しました。その頃の沖縄は、病院や医師が不足しており、市民や県民が十分な医療サービスを受けられない時代にあった中、当院は診療科14科、一般病床295床を有する県内最大規模の公立病院として開設されました(県立病院を除く)。

その後、ICU(集中治療室)、NICU(新生児集中治療室)の設置をはじめ、高度医療機器の導入や365日24時間体制の救急医療の提供と、医療機能の充実化を図り、当院は那覇市における地域医療の中心として発展、貢献してまいりました。

さらなる飛躍のために

田端初代院長は開院10周年に際し、「これまでの実績をふまえて、絶えず反省を重ねながら新しい医学・医療の進歩にも遅れることなく、市民に信頼される、より良い病院を目指して全職員が力を合わせて頑張ります」と述べられています。この言葉は、当院のもつ重要な使命を表しており、次の世代にも受け継いでもらいたいと思っております。

現在の日本の社会では、戦後から平成までの仕事優先の生き方や働き方から、より人間性を重視する働き方改革が叫ばれておりますが、病院で働く職員についても同様であります。職員がやりがいを持って仕事に取り組めるよう、環境整備を進めることは、患者さんの前で笑顔を絶やさず、病気回復の手助けにもつながります。

開院から42年たった現在では、医師数は倍増し、職員数は千名を超え、更なる高度医療を提供できるようになりました。そして、令和7年10月の新病院開院に向けて、さらなる飛躍を目指し、当院の理念である「和と奉仕」に加えて、新しく「地域住民を守る」というミッション(使命)、「働きやすさ」、「学びやすさ」のふたつのビジョン(市立病院のあるべき姿)、そして、それらを実現していくためのバリュー(行動指針)を定めました。職員一人ひとりが、ベクトルを一つの方向に定め、協力し合えるよう、院長として努めてまいります。

那覇市立病院の これからについて

新しい那覇市立病院が完成する令和7年には、すべての団塊の世代の方々が後期高齢者(75歳以上)となる超高齢化社会を迎えます。しかし、沖縄県は若い世代が多く、出生率は全国一位となっております。そのため、他県とは異なり、今後しば

らくは人口が増加すると予測され、まだまだ将来の発展が期待できる地域となっております。このような時代に高齢者が、健康で幸せを享受し、安心して孫世代と暮らしていただけるように地域の先生方と共に強固な地域連携を進め、地域住民の皆様への期待に応えられるよう、この地域を守ってまいります。

市民の皆様！今後とも那覇市立病院をご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。そして、令和7年10月、生まれ変わる那覇市立病院にどうぞ、ご期待ください。



地方独立行政法人 那覇市立病院

理念 和と奉仕

Mission 地域住民を守る

Vision 働きやすさ、学びやすさ

Value 行動指針

心かける姿勢

- 患者中心の医療
- お互いに敬意を払える職場
- ずっと働き続けたい職場

取るべき行動

- 地域連携を大事にすること
- 経営の視点を持つこと
- 人材教育
- 地域に選ばれた病院

令和7年10月(予定)に那覇市立病院が生まれ変わります。

施設整備方針

※新病院建設基本計画(R1年6月)より

- 市民にとって安心安全な病院
- 地域災害拠点病院としての整備
- 1次2次救急・小児科24時間365日体制の維持
- 環境にやさしい病院

加えて、感染症対策の強化を図っています。

末吉公園側からの遠景イメージ



デザインコンセプト

「結い」

- 01 周辺環境に呼応する
- 02 記憶をつなぐ
- 03 気候風土に馴染む
- 04 地域・街とつながる
- 05 治癒力を促す

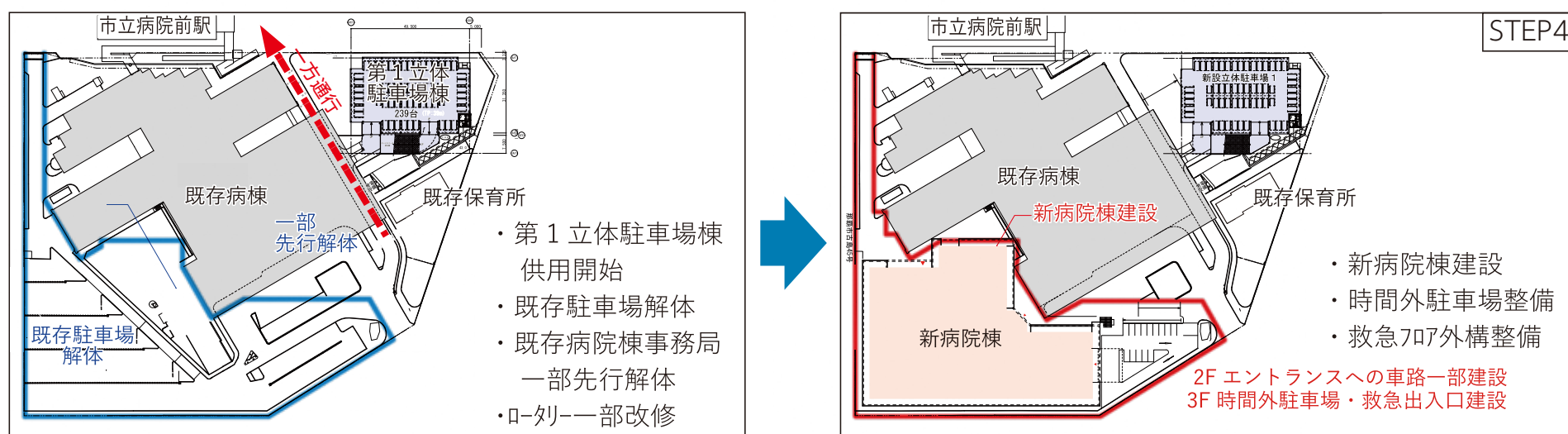
那覇市立病院は、昭和55年5月1日に開院し、42年余が経過しています。これまで、安心安全な暮らしを支える救急医療、ハイリスク妊婦や緊急帝王切開といった母児の安全等のための周産期医療、小児科専門医による24時間365日の診療体制、がん治療、医師の育成等、地域医療へ貢献してきました。しかし、建物の老朽化、患者アメニティの劣化、提供する医療サービスと施設・設備の不均衡等の問題に加え、耐震性が不足している状況をふまえ、早急な建替が必要です。

来院する皆様及び連携医療機関等との関係性の実績や交通アクセス、かつ、現状の診療を止めることなく新病院を建設できること考慮した結果、現在地で建替を行います。**建設期間中も診療は継続します**ので、どうぞご安心ください。

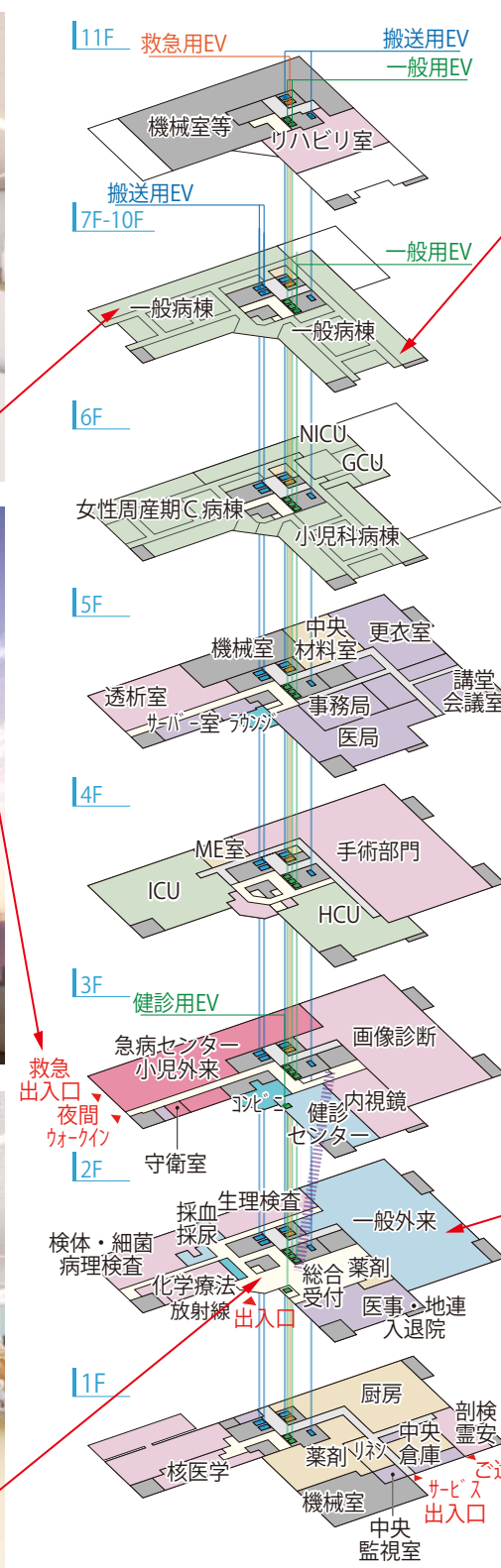
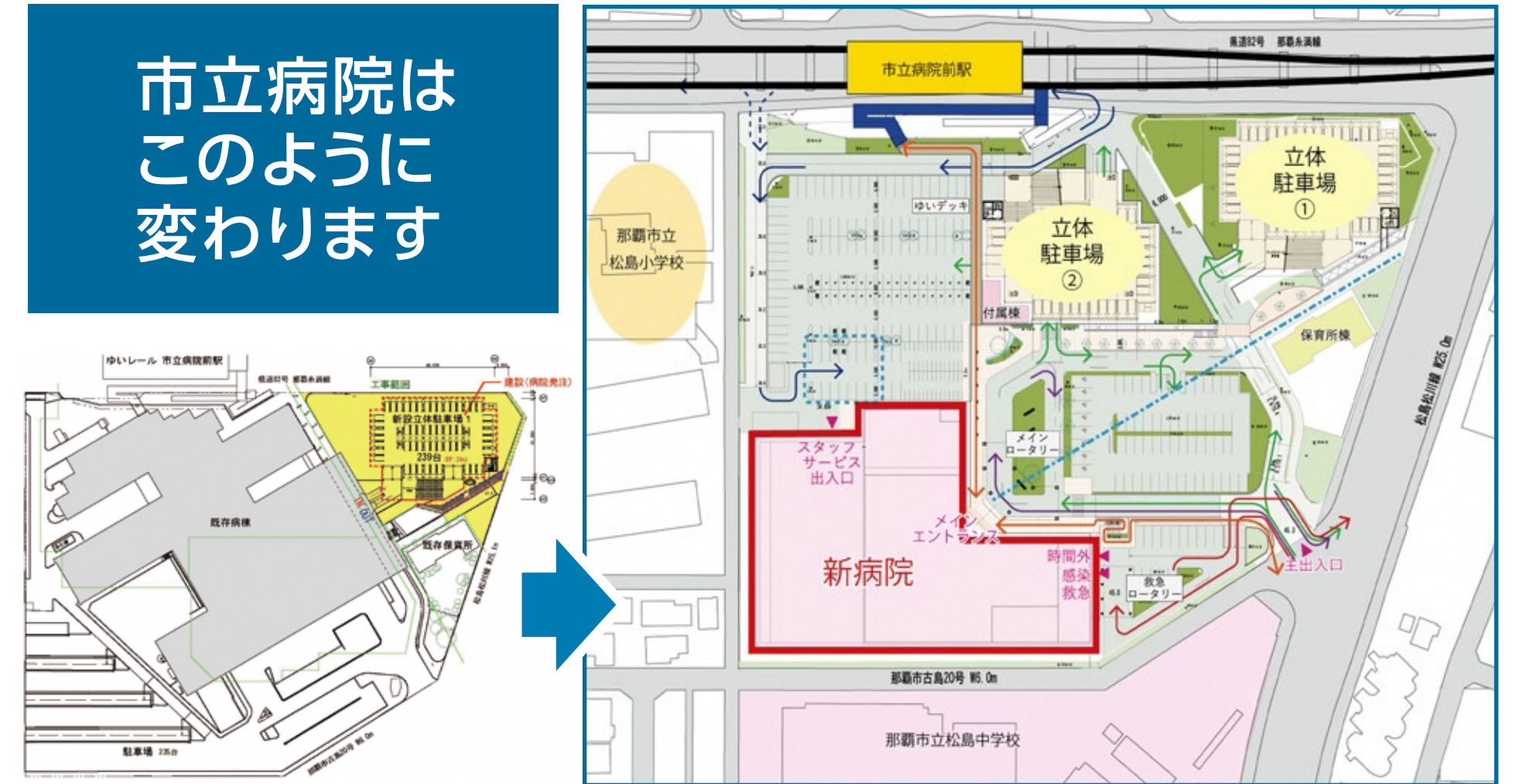
地上10階地下1階鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)

- 床面積:約38,330㎡(現在より約6,900㎡大きくなります)
- 病床数:470床(現在と同数です)
- 新病院完成後、既存病院を解体し、令和9年度までに駅から1階レベルを「ゆいデッキ」でつなぎます。

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
		●	→	●	→	●	●
		●	→	●	→	●	●
		●	→	●	→	●	●



- 2022(令和4)年3月～2025(令和7)年3月の3年間、新病院建設を行います。
- 工事に伴い、立体駐車場をご利用いただくこととなります。出入口前通路が一方通行となるなど、ご不便をおかけします。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。



○新病院では、個室の数が増え、4床室では現病院よりも1.3倍程度広くなります。



設計監理：
梓設計・ワールド設計・国吉設計 設計共同体

新病院施工：
熊谷組・共和産業・佐平建設・大晋建設 共同企業体

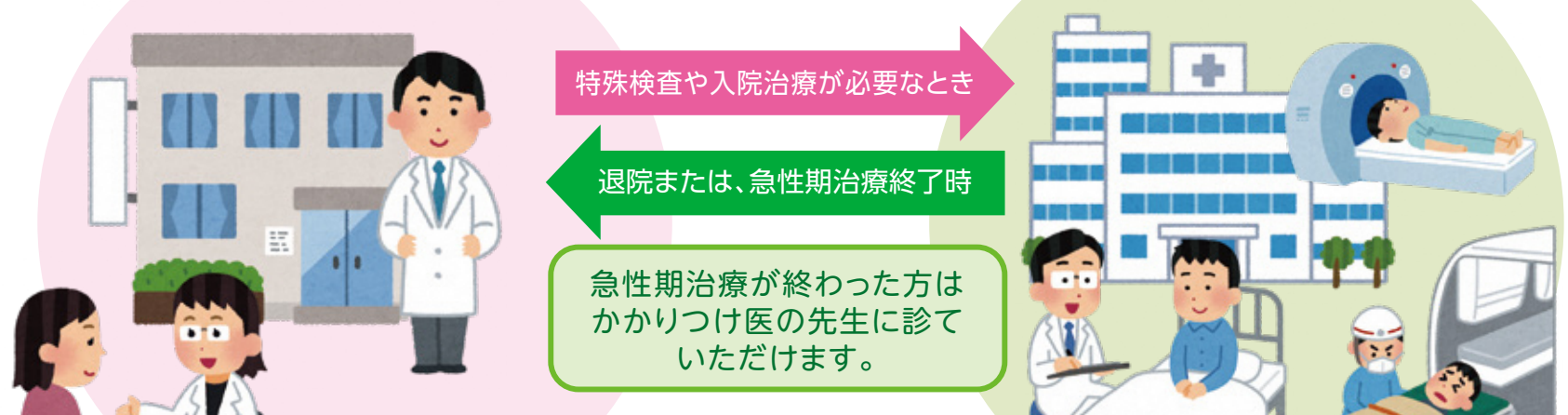
新病院建設事業に関するお問い合わせ先
事務局 新病院建設室 (884-5111)

かかりつけ医はいらっしゃいますか?

那覇市立病院の役割とかかりつけ医制度

かかりつけ医

那覇市立病院【地域医療支援病院】



特殊検査や入院治療が必要なとき

退院または、急性期治療終了時

急性期治療が終わった方は
かかりつけ医の先生に診て
いただけます。

かかりつけ医とは

患者の皆様が一番近くで日頃の体調や生活習慣管理をサポートして下さるお医者さんです。

地域医療支援病院とは

急性期病院として高度医療を提供し、救急・手術・入院医療や特殊な外来治療に対応します。
一般外来については制限がかけられています。

那覇市立病院の役割

地域を支える病院として急性期医療に特化する役割を求められています。現在那覇市立病院では、かかりつけ医への紹介を推進しています。また受診に際しては、基本的に紹介が必要となります。現在570ヶ所余りのクリニック、診療所などの医療機関と連携を構築しており、緊急時の受け入れ体制が整っています。

かかりつけ医相談窓口

〒902-8511
沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
那覇市立病院 地域医療連携室
TEL (098)884-5134
FAX (098)886-5502

那覇市立病院 放射線治療科

HALCYON™

沖縄県初導入
(令和4年4月時点)

那覇市立病院は、**地域がん診療拠点病院**として患者さんの思いに寄り添った放射線治療を提供します

当院では、令和4年4月から、放射線治療装置『Halcyon(ハルシオン)』による放射線治療を開始いたしました。
放射線治療専門医をはじめ、医学物理士、がん放射線療法認定看護師、放射線治療専門放射線技師が協力し、治療を行っております。



ハルシオン varian

令和4年
4月より
稼働中!

●注目したい特長

短い治療時間

以前は入室から退出まで15~20分ほど
→約10分以下へ短縮(標準的な治療の場合)
仕事を続けながら通院して治療を行いたい方にも期待 有

静かで圧迫感を軽減した治療環境

100cmの大きな開口径 → 圧迫感の軽減
リニアモーターを採用 → 動作音が静か

ピンポイント治療(定位放射線治療)

体表面情報やCBCT画像から、位置照合を高精度に行うことができるため、比較的小さな腫瘍に対しても多方向から放射線を高い精度でピンポイントに照射することが可能です

強度変調(回転)放射線治療 IMRT・VMAT

放射線の当たる強さを変化させながら、多方向(回転)から照射することで、病巣への放射線量を担保し、守るべき正常臓器の線量を低減することが可能です

あなたのチカラを地域医療に 役立ててみませんか?



医療の知識、資格不問!
必要なのはあなたのやる気です!

募集中

看護補助員

院内保育所めばえ保育園の

保育士 調理師

他にも様々な職種を随時募集しております!

ご興味ある方はぜひ当院のホームページ内の採用情報をご覧ください。
URL: <https://www.nch.naha.okinawa.jp/>

お問い合わせ

看護補助員 看護部(新垣)

TEL.098-884-5111(代表)

保育士・調理師 めばえ保育園

TEL.098-886-8061



がん相談支援センターとは

がん診療連携拠点病院等に設置されている「がんの相談窓口」です。

がんの治療や副作用の悩み、療養に伴う疑問や不安、生活や仕事のことなどに関して、患者さんやご家族と一緒に考え、情報を探してお手伝いをしています。

当院の患者さん、ご家族だけでなく、**他院の患者さんやご家族、一般市民の方、どなたでもご利用**ことができ、看護師 やソーシャルワーカー(社会福祉士)などの専門の研修を受けたスタッフが対応しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

※病気の診断や治療について判断するところではありません。

【相談時間】平日 9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く)

【料金】無料 【電話】代表 098-884-5111(内線 283)



ご寄附のお願い

新病院建設に伴い、多くの医療機器の更新が必要となります。本院では特定寄附制度を設けております。皆様のお力添えをお願いいたします。

寄附等の宛先:事務局 経営情報企画課 企画グループ
お問い合わせ先 ☎098-884-5111(代)

